

使い方いろいろ

歩ける床地図

函館市立中央小学校 伊藤 克美

探検活動を進めていく中で、探検する場所がどこにあるのかを確かめたり、実際に探検したことを振り返ったりする際に、学校探検地図、通学路地図、公園案内地図、生き物マップなど、地図を使っての活動が行われます。

どちらかというと、模造紙を何枚かつなぎ合わせて地図を作ることが多いのですが、少し素材を変えてみると、子供の活動がぐんと広がります。



模造紙

【ビニルシートに変えたことによって】

○床地図の上を歩くことができる！

臨場感をもって活動することができます。

○作るのは一度だけ！

丈夫なので、何度も、何年も使うことができます。

○収納が簡単！

たたんでもしわにならず、コンパクトに収納できます。

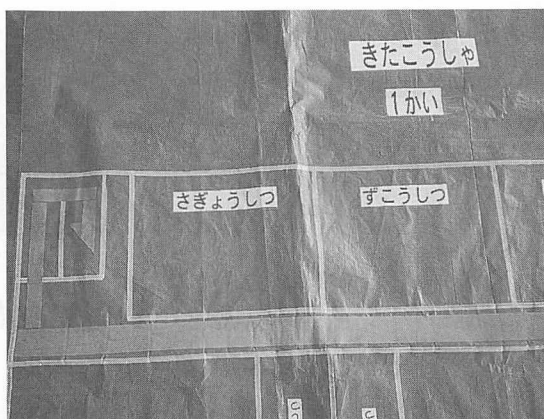
○カードや立体作品の移動が可能！

セロハンテープで固定しても、すぐにはがすことができます。

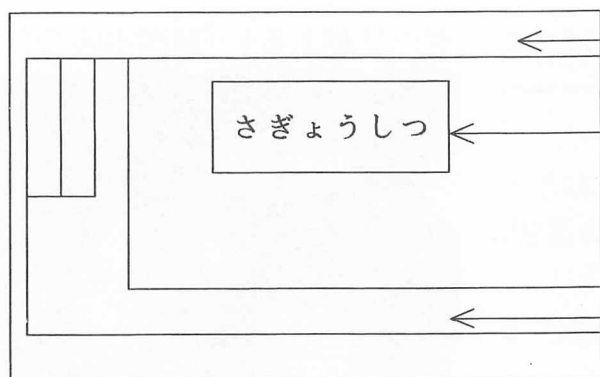
○子供の表現したい方法で表現できる！

立体作品はもちろん粘土なども地図上に表現できます。

ビニルシート を使った床地図の 作り方



例：学校探検地図



- ビニルシートは、運動会の児童席に敷くものを利用しました。
- 教室の表示は、ワープロで字を出し、その上から、透明な粘着フィルム（商品名「ピッチン」）で固定します。
- 教室や廊下の仕切りの線は、ビニルテープの細いもの（商品名「バックシーラーテープ」）を使いました。

使い方いろいろ

- ◆実際の探検活動をする前に、オリエンテーション的な導入として、床地図の上を歩いてみることで、子供たちの思いや願いを引き出すことができます。
- ◆また、実際に床地図の廊下を歩くことにより、自分の教室からの位置関係、空間の広がり気付かせることができます。
- ◆空き教室があれば、床地図を固定しておき、1年間を通して、見つけたものを増やしたり、季節による変化などをとらえて表現させたりしていくこともできます。